

市長としゃべらんで

トーク
企画

「市長としゃべらんで」第23回目の今回は、前回に引き続き、今年度新たに着任した「地域おこし協力隊員」の内、2人の隊員と原井市長とのトークセッションの様をお伝えします。



地域おこし協力隊 × 原井 敬 市長

これまでの歩みと
協力隊を志した
きっかけ

市長 今回の今回は、黒瀬さんと伊藤さんのお二人に、地域おこし協力隊としての活動について、ざっくばらんにお話を伺いたいと思います。

まずは、自己紹介と、協力隊を志したきっかけについてお聞かせください。

それでは、黒瀬さんからお願いします。

黒瀬 黒瀬公美（くろせ・くみ）と申します。大阪で約32年間、企業に勤めた後、NPO法人で若者支援の仕事に携わってきました。その後、日本語学校で日本語教師としても少し経験を積み、昨年こちらに着任しました。

企業時代は海外との取引を担当し、アジアを中心とした

外国の方々に関わる機会が多くありました。その後、NPOで不登校や学校に通いづらい若者の支援に携わる中で、日本にルーツを持たない若者や、外国籍の方が多くの困難を抱えている現状を知りました。

で、日本語教育や受け入れの仕組みづくりに関わりたいと考えようになり、タイミングで、吉野川市の協力隊のミッションとして、外国人技能実習生の受け入れに関わる仕事を知り、「現場に飛び込んで、本当に必要な支援を考えたい」と思い、応募しました。

市長 長年の企業経験に加えて、NPOや日本語教育と、本当に幅広い経験ですね。

黒瀬 いえいえ、でも振り返ってみると、色々な事業を進める中で、さまざまな人と関わりながら仕事をしてきたのかなと思っています。

市長 続いて伊藤さん、お願いします。

伊藤 伊藤和実（いとう・かずみ）か

過疎地域における外国人実習生・高度人材の受入に関する業務



くろせ くみ
・黒瀬 公美 さん
吉野川人材育成支援協同組合勤務

歩き遍路の支援やインバウンド観光に向けた取り組み



いとう かずみ
・伊藤 和実 さん
合同会社遍路イレブン勤務

ずみ）です。仙台市出身で、昨年5月に着任しました。協力隊を志したきっかけは、2023年に四国遍路をしたことです。その途中で、現在お世話になっている受入団体の代表・増田さんと出会い、「遍路宿を新しく開く予定があり、地域おこし協力隊を募集している」と聞きました。

これまで、さまざまな職場を経験してきましたが、お遍路を通じて「人の話を聞くこと」「旅を支えること」にやりがいを感じ、この地で暮らしながら関わられたらと思い応募しました。

市長 お遍路が人生の転機になったわけですね。

伊藤 そうですね。歩き遍路の中で、多くの方と話をする機会があり、それが今につながっていると感じています。

